



にこにこだより NO.12

令和7年3月27日
垂井町立岩手こども園

少しずつ太陽の日差しが暖かくなり始め、園の周辺では梅の花が咲いたり、てんとう虫を見つけたりと春の訪れを感じられるようになってきました。今年度、岩手地区のいろいろな場所に出掛けたり、地域の方とふれ合ったりすることができ、子どもたちの心も体もまた1つ大きくなりました。

一年間、ご家族や地域の皆様には、岩手こども園の子どもたちを温かく見守っていただき、ありがとうございました。

地域の方との交流



1年間、ありがとうございました



岩手地区まちづくりセンターで、地域の方とひなまつりのクイズをしたり歌を歌ったりしました。5月に初めて交流を行った時は緊張で表情が固くなっていた子どもたちでしたが、交流を積み重ねていく中で笑顔が増え、子どもたちから手を繋いでふれ合う姿が見られるようになりました。地域の方に優しくしていただき、子どもたちにとって楽しい交流の場となりました。ありがとうございました。

ひな飾りと一緒に、はいポーズ！
これからも、子どもたちが元気に過ごせますように…





お楽しみ遠足



「あと何回寝たら、遠足？」と楽しみにしていた子どもたち。岩手地区にある牛舎に出掛けました。たくさんの大きな牛に驚きながらも、「牛が集まってきた」「あっ、鳴いた！」と話したり、触ってみようとしていました。園庭では、ご家族が用意してくださったお弁当を食べて、笑顔いっぱいの遠足になりました。

自分の命、自分で守ります！

防火教室



交通教室



連れ去り防止教室（3・4・5歳児）



東消防署の方、垂井警察署の方、交通安全指導員の桐山さん、岐阜県警のたんぼぼ班の方の話を、真剣な表情で聞いていた子どもたち。「火で遊びません」「横断歩道を渡る時は、車が来ていないかよく見てから渡ろうね」「知らない人が声をかけてきたら、“いやだ”“たすけて”と大きな声で言うよ」等、自分の命を守る為の大切な約束を教えていただきました。